第 110 号
2022 年（令和 4 年）
11 月

たけはら 市民と議会

http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/

目次

特　集…… 2
決算審査…… 4
採決の結果…… 6
主な議案・議会のうごき …… 7
一般質問…… 8
所管事務調査・政務活動費収支報告…11

特　集

NPO法人バンブースポーツクラブ

▲NPO法人バンブースポーツクラブのみなさん

… 傍聴の際には「自宅での検温・マスクの持参」をお願いします …

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、議会を傍聴される皆様には、議場への入場前に体温・体調等の申告をいただき、入場時にはマスクの着用、手指のアルコール消毒をお願いすることといたします。傍聴に来られる際には、あらかじめ自宅での検温と、マスクの持参をお願いいたします。

また、傍聴する際には、他の傍聴者と２メートル以上の間隔を空けて着席ください。

感染拡大防止のため、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

特集

松本議員・下垣内議員が聞く

NPO法人 バンブースポーツクラブ

文化・スポーツ活動を通じて元気な地域づくりに頑張ります！

Q 現在、どのような活動をされていますか。

ピースリーホームバンブー総合公園の指定管理者として施設の管理運営を行うとともに、総合型地域スポーツクラブとしてスポーツサークルや教室を運営、青少年育成や市民の健康保持、増進を図っています。

例えば、バンブースポーツ教室として、陸上&ウォーキング、サッカー、バドミントン、広島ドラゴンフライズのバスケットボールスクールの運営などです。

総合公園以外の活動は、会員クラブの指導者による中通小学校や竹原西小学校のバスケット、長善寺グラウンドでのラグビー、中央こども園での剣道、竹原中学校での合気道などです。

私たち、活動のキャッチフレーズは、①「育てる」＝子供たちにスポーツをする楽しさを、得意分野の指導者として教える。②「する」＝自らもスポーツをすることで健康増進と仲間とのコミュニケーションを図る。③「支える」＝スポーツイベント等の企画・実施・並びに地域イベントへの参加・協力を行うの３つです。

クラブ会員（年会費・高校生以上千八百円ほか）、賛助会員（年会費五千円）を募集しています。

バンブースポーツクラブ
理事長
土居（どい）　龍二（りゅうじ）さん

Q 利用状況はどうですか。

ここ3年近くコロナ禍により停滞しましたが、9月ごろから利用状況は回復してきています。

Q 何を大切にされておられますか。

施設の運営面では、利用者の要望をしっかりと聞き、来て良かった、利用して良かった、と満足して頂けるように努力しています。NPO法人としては、様々な文化、スポーツ活動を通じて活気ある地域づくりを推進するため、常に行動することです。

Q 今後、どのようなことを目指しておられますか。

当市の高齢化率は40％を超え、ますます健康寿命を延ばすことが課題となります。重要となる「運動」の習慣化に当クラブの役割は大きいものであり、「運動」のイベントや講習会などを通じて啓発活動を行い、青少年育成とともに活動の中心としたいです。

Q 竹原市に何か要望がありますか。

ピースリーホームバンブー総合公園に定期的な交通手段が必要です。

特に高齢者は交通機関がないと来られないので、市の福祉バスが定期的に来るようになればもっと利用度が上がります。

JR駅の設置も要望しています。

竹原市には動いてもらっていますが、もっと市民全体がスポーツとか、運動・健康の維持増進に対して、大きな声が出ればいいなと思います。

委員長　山元　経穂　　副委員長　井上　美津子

■一般会計（議案第40号）

●歳入決算額…154億7,689万４千円

主なもの	収入済額	前年比
市税	54億1,580万6千円	49.8%増
地方交付税	22億5,786万3千円	23.3%減

●歳出決算額…144億8,746万5千円

主なもの	支出済額	前年比	主な要因
総務費	23億4,546万7千円	42.8%減	特別定額給付金などの減少
民生費	51億1,734万5千円	13.3%増	非課税世帯臨時特別給付金などの増加
農林水産業費	2億7,796万9千円	4.9%増	地域経済循環創造事業補助金などの増加
教育費	6億8,962万1千円	28.8%減	小中学校空調設備設置事業などの減少
災害復旧費	11億7,880万5千円	6.8%減	平成30年7月豪雨災害復旧事業の減少

※歳入・歳出 差引差額は9億8,942万9千円の黒字
※翌年度に繰り越すべき財源1億7,717万2千円を差し引いた8億1,225万7千円の黒字（実質収支）

●審査スケジュール

9/ 7　正副委員長互選
　　日程・資料請求
9/20　詳細審査・総務企画部等関係
9/21　詳細審査・市民福祉部関係
9/22　詳細審査・教育委員会関係
　　建設部関係・公営企業部関係
9/26　総括審査・討論・採決

審査の様子は動画でみることができます！

■特別会計（6会計）（議案第40号）

●歳入決算額…71億3,318万7千円　●歳出決算額…69億6,035万5千円

■下水道事業会計（議案第41号）

●収益的収入及び支出

	収入総額	支出総額	差引
税込額	5億9,362万5千円	5億8,732万3千円	630万3千円

●資本的収入及び支出

	収入総額	支出総額	差引
税込額	2億9,169万円	4億6,139万5千円	1億9,885万円不足

※この不足額については，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整・繰越工事資金・過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補填

■水道事業会計（議案第42号）

●収益的収入及び支出

	収入総額	支出総額	差引
税込額	10億472万6千円	8億844万7千円	1億9,627万9千円

●資本的収入及び支出

	収入総額	支出総額	差引
税込額	1,914万2千円	2億7,264万8千円	２億5,350万6千円の不足

※この不足額については，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額・過年度分損益勘定留保資金・当年度分損益勘定留保資金・建設改良積立金で補填

令和３年度決算　賛成多数で認定！

■委員長報告

当委員会に付託された令和3年度決算認定の3議案につきまして、部署毎に関係事務の集中審査を行った後、市長の臨席による総括審査を行い、計5回に亘り慎重に審査した結果、3議案共に原案のとおり認定すべきものと決しました。市長、執行部におかれましては、当委員会の審査過程において各委員から質疑がなされた項目に対し御配慮いただくと共に、他の項目も含めて事業の実効性、意義を再度検証され、新年度（令和5年度）の予算編成に反映していただく事を委員長からの指摘・要望として当委員会の委員長報告といたします。

委員長　山元　経穂

■主な質疑

❶公共交通実証運行事業の事業拡大について

●実証運行は次年度も行い、その結果を把握してから路線バス事業者や鉄道事業者との兼ね合いを考慮しなければ事業展開の結論は定められない

❷ホームページ整備委託について

●この度システムの更新を行い、スマートフォン等に対応が可能なように機能がより強化され、最新のデータ情報を掲載できる庁内体制を構築していく

❸次年度以降の行財政運営の見込みについて

●資源の選択と集中による最適な配分を図り、安定した行財政運営を目指し、持続可能な行財政運営に努めたい

❹乳幼児等医療給付の通院・入院における給付対策の拡大について

●他市町とは財源の背景が違うこと等から、中長期的な視点に立ち、施策全体をトータルで考え、適正な制度の在り方を国県に訴えて行く事で、事業の円滑な実践を図りたい

❺理科観察実験アシスタント等の専門的知識を有する外部人材の積極的な活用について

●児童生徒のみならず、教員のスキルアップにも寄与しており、財源等トータルで見ながら継続していきたい

❻無舗装・狭隘等の悪路の整備について

●使用頻度、安全性を考慮し個別実施計画に基づいた維持補修の健全性を確保して事業を進めると共に、緊急自然災害防止対策事業を活用していく

●議案第40号

反対討論

地方自治法は、住民の福祉の増進を図ること。憲法第25条は、すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有すると定めています。

竹原市の高い国保税は滞納者等の生活を脅かしています。国保税滞納者総数392人、内所得100万円未満は277人、70・6％です。

子育て支援やコロナ対策に伴う市国保税の負担軽減を早急に実施すべきです。

介護保険の特養ホームの待機者は108人で昨年の98人よりも増加ですが、施設増床の改善がありません。

市教委の働き方改革取組の目標が実現できていません。教員の本来業務を整理し、具体的な解決を求めます。

市職員の残業時間が月80時間超の職員数は18人で過労死ラインを超える異常事態です。年間最大残業時間746時間は労働基準法違反であり、市職員の増員など抜本的な対策を強く求めます。

松本　進

賛成討論

令和3年度の決算状況は、歳入額225億5，644万円、歳出額214億1，431万円で実質収支は9億6，496万円の黒字に、経常収支比率は、前年度より10・1ポイント改善し、85・9％になっている。

これらは固定資産税の増加もあるが、市長をはじめ職員の皆さんの努力や財政健全化計画の取組の成果によるものと評価できる。

高齢化の進行や人口減少が見込まれる中、豪雨災害対策や長年の課題である庁舎移転の方向性が決定し、元気な竹原市を作る為に、限られた財源で最大の効果があげれるよう事業の選択と集中がより重要であると考える。今後も安定的かつ有利な財源の活用に努め、持続可能な行財政運営が行われる事を期待する。

井上　美津子

●令和4年第3回定例会　議案概要・採決結果

令和4年9月6日～令和4年9月28日　○は賛成　×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	委員会付託	金森	下垣内	今田	竹橋	山元	堀越	川本	井上	大川	道法	宮原	吉田	宇野	松本	議決結果
報告第 10 号	損害賠償額の決定について	浸水被害について損害賠償の額を定めるため専決処分したので報告するもの	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	原案報告
報告第 11 号	令和３年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、議会に報告するもの	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	原案報告
議案第 37 号	広島県水道広域連合企業団の設立について	広島県水道広域連合企業団を設けるため、広島県及び関係市町との協議により規約を定めることについて、議会の議決を求めるもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	×	原案可決
議案第 38 号	竹原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、育児休業の取得要件を緩和する措置を講じるもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 39 号	竹原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	公職選挙法施行令の一部が改正されたこと等を踏まえ、竹原市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担の限度額を改定するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 40 号	令和３年度竹原市歳入歳出決算認定について	地方自治法第 233 条第３項の規定により、令和３年度竹原市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	原案認定
議案第 41 号	令和３年度竹原市下水道事業決算認定について	地方公営企業法第 30 条第４項の規定により、令和３年度竹原市下水道事業決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案認定
議案第 42 号	令和３年度竹原市水道事業決算認定について	地方公営企業法第 30 条第４項の規定により、令和３年度竹原市水道事業決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	×	原案認定
議案第 43 号	令和４年度竹原市一般会計補正予算（第４号）	歳入歳出それぞれ 499,465 千円を増額補正するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 44 号	令和４年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	歳入歳出それぞれ 2,419 千円を増額補正するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 45 号	令和４年度竹原市介護保険特別会計補正予算（第１号）	歳入歳出それぞれ 63,806 千円を増額補正するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
報告第 12 号	損害賠償額の決定について	接触事故について損害賠償の額を定めるため専決処分したので報告するもの	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	原案報告
議案第 46 号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 原田 千鳥 委員は、令和４年12 月 31 日をもって任期満了につき、その後任委員を推薦しようとするもの（山登　純子氏）	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	異議なし
議案第 47 号	令和４年度竹原市一般会計補正予算（第５号）	歳入歳出それぞれ 320,109 千円を増額補正するもの	総務文教	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	退席	原案可決

【議案第37号】　討　論

●賛成討論

本市の水道事業の将来見通しは，人口減少等に伴い給水収益が減少する一方で，施設の老朽化により更新費用は増加するなど，経営の悪化は避けられない状況にあり、その解決策の一つとして水道事業の広域連携が挙げられる。

大規模な企業団として運営される事により，人材育成を含めた組織体制や，自然災害等に対する危機管理体制など，その経営基盤は大きく強化されると考える。

また，広域化に伴う国からの交付金を活用することで，本市の老朽施設の更新を進めながらも将来的な水道料金の上昇を抑制していくことが可能となり，将来にわたり安全・安心な水を適切な料金で安定供給できるシステムを維持していく上で，有益なものと考える。

井上美津子

●反対討論

この議案は、竹原市水道事業を廃止して広島県水道広域連合企業団（＝企業団）を設立するためのものです。竹原市上水道の水源は、県内の他市にも誇れる良質で安全でおいしい豊かな水です。市長は、市水道事業の経営の健全化や効率化は良好と答えており、市水道事業を廃止する必要はありません。広島市など6市町は『メリットがない』と統合に不参加です。

統廃合後の運営を市町単位ではなく、太田川エリアなど5つの地域に再編する方針で、竹原市水道事業の権限が企業団に移行後は、地元業者に仕事が確保されるか疑問です。竹原市の県用水受水費は、38年間で76億円。この巨額のお金があれば、新成井浄水場や老朽管路の更新等に活用できました。企業団に参画すれば竹原市の良質で安全でおいしい水、豊かな水源を守ることはできないと考えます。

松本　進

…主な議案…

議案第37号　広島県水道広域連合企業団の設立について

・**質　疑**／企業団に参画する場合のメリットは？

・**答　弁**／参画することで国の交付金を活用することができ、水道施設の老朽化対策及び耐震対策の前倒しや、水道料金の上昇を抑制できる。

・**質　疑**／現在は自己水源を活用し、バックアップ機能を踏まえた水の安定供給をしているが、企業団に参画しても変わらないといえるのか。

・**答　弁**／今後も竹原市の良質な自己水源を活用しながら事業を進めていく。

議案第43号　令和4年度竹原市一般会計補正予算（第4号）

■ 観光地域づくり法人設立事業

・**質　疑**／DMO（観光地域づくり法人）はどういった活動をするのか。

・**答　弁**／担当委員会を設置して商工会議所等と観光について検討してきたが、DMOが必要ということとなった。スタッフには全国から経験のある人材を募集し、主に竹原市の情報発信、観光資源の醸成、観光整備等の業務を行う。今回は法人の設立にかかわる経費として法人登記、スタッフ人件費を計上している。議会には、今後事業計画等含めて充分説明をしていく。

議案第47号　令和4年度竹原市一般会計補正予算（第5号）

■ 竹原市庁舎移転事業

●**内　容**／令和5年度にたけはら合同ビルの改修工事に着手するため、竹原商工会議所事務所を令和4年度末までに創建ホーム現本社屋へ移転してもらう必要があることから、年内に創建ホーム本社を仮移転してもらうための費用を同社へ支援する。

・**質　疑**／仮移転後の予定は？

・**答　弁**／新本社整備は令和5年度後半になる見込みである。

・**質　疑**／仮移転費用の積算内容は？

・**答　弁**／工事進捗により執行時に充分精査する。また、今後の庁舎移転の工程については、情報提供する。

議会のうごき

8月　8日	民生都市建設委員会
8月　9日	広島中央環境衛生組合議会
	先進地視察（～１０日）
8月１８日	議会運営委員会
8月２３日	全員協議会
8月３１日	議会運営委員会
9月　6日	本会議
9月　7日	決算特別委員会
9月　8日	総務文教委員会
9月　9日	民生都市建設委員会
9月１２日	本会議
9月１３日	本会議
9月１６日	議会運営委員会
	本会議
9月２０日	決算特別委員会
9月２１日	決算特別委員会
9月２２日	決算特別委員会
9月２６日	決算特別委員会
9月２８日	議会運営委員会
	本会議
	総務文教委員会
	会派代表者会議
１０月　５日	総務文教委員会
１０月１３日	秋田県湯沢市議会　来市

※この間、広報広聴委員会は3回行いました。（9/6，9/26，10/14）

吉田（よしだ）　基（もとい）

●市の新型コロナ感染対策について
●施設移転に伴う内容説明について
●水道事業の説明責任について

動画

質問　新型コロナ感染対策として、現在、国、県も尽力されておりますが、これに加えて竹原市として独自に市民の皆様を支えるために出来る事があると思われます。特に、弱い立場にある高齢者、母子家庭等、孤立化することのないように、最善を尽くす体制が必要と考えますが、いかがですか。

答弁　**市長**　現在、新型コロナ対策として数多くの支援を実施してまいりましたが、今後におきましても、新型コロナの影響を受けた世帯や事業者等を支えるため、引き続き必要に応じた支援等を実施してまいります。

質問　この度、商工会議所の移転先がやっと決まり、今後の課題と市の市民館、図書館、美術館の施設などがどのようになるか、市民の皆様が注視していますが、全体像及びロードマップを示すべきだと思いますが、いかがですか。

答弁　**市長**　今後、できるだけ早く庁舎関連について、議会及び市民の皆様に説明できるように努力してまいります。

質問　竹原市の水道事業がこの度の広島県の水道事業企業団に参加するのは数多い問題があると思います。広島市を初めとして6割以上が参加していない状況下、竹原市の水道が将来とも安価で良質な水道を守ることができない、市民の皆様に分かりやすく正確な情報が提示されるべきでありますが、いかがですか。

答弁　**市長**　水道サービスの提供は、市民生活に直接影響するものであることから、今後とも、市民の皆様に対して適切に情報提供してまいります。

質問　簡保センター廃止、また吉名出張所の閉鎖、さらに荘野出張所も閉じ、多くの市民が影響を受けています。忠海支所の今後も大変気になるところですが、衰退する地域について、竹原市としての考えをお聞きいたします。

答弁　**市長**　忠海支所を含めた公共施設のあり方につきましては、費用対効果や住民ニーズの変化などの観点を踏まえ、取り組むこととしております。

今田（いまだ）　佳男（よしお）

●自治会の活性化について
●竹原市の人材育成について

動画

質問　時代に合わせた地域づくりをどのように進められるのか。

答弁　**市長**　住民自治組織に対して、組織の充実及び組織運営の基盤強化に取り組むことを目的として、「竹原市住民自治組織ステップアップ助成金」、「竹原市住民自治組織活動支援助成金」を交付しております。

　また、人的支援として、防災訓練の準備や参加、海岸清掃への参加、行動プラン作成の助言などのほか、総会、役員会への参加を地域づくり課職員がサポートし、ともに地域づくりを進められるよう取り組んでおります。

　引き続き、助成金の交付とともに、職員の人的支援を含め、住民と行政のパートナーシップによる協働のまちづくりに努めてまいります。

質問　「地域づくりサポーター」等の設置を検討できないか。

答弁　**市長**　将来的に地域のご意見等を踏まえながら、必要が生じた場合は、検討してまいりたいと考えております。

質問　「広島叡智学園」と連携を検討されたことがあるか。

答弁　**教育長**　カリキュラムの違いなどから、学習活動を切り口とした生徒同士の交流は困難ではありますが、生徒の個性を最大限に生かす学習環境や、教師がファシリテーターとなり、生徒自身が学びを展開していく授業づくりなど、広島叡智学園の実践から学ぶ意義は大きいことから、本市の学校に配置している教員に対し、広島叡智学園の授業を参観し、教職員と意見交流できる機会を設けることで、教員の指導力の向上につなげているところであります。

質問　高校生を対象にした海外留学の制度を検討できないか。

答弁　**教育長**　高校生を対象とした制度も効果が期待できると考えられますが、まずは市内の中学校・義務教育学校生徒を対象とした事業に注力することで、人材育成を進めてまいりたいと考えております

松本（まつもと）　進（すすむ）

●里道（西野町赤坂）の管理で市は責任を果たせ
●竹原市立小中学校の統廃合答申について
●市民の命と健康を守る水道事業を

動画

質問　市長は、里道敷地内にAさんの浄化槽設置を認めていたが、竹建第635号の境界復元図で覆しています。その正当性はどこにありますか。

市公開資料は里道幅・浄化槽設置は明記していません。

答弁　市長 関係地権者全員での境界立会がないので、確定でなく推認としています。

質問　小規模校の課題、児童生徒に与える影響で、「社会性やコミュニケーション能力がつきにくい」、「切磋琢磨…意欲や成長が引出されにくい」との懇話会報告は、科学的に検証されていますか。

答弁　教育長 社会性やコミュニケーション能力を育成するための最適な環境は、特に科学的根拠は承知していません。

質問　市立小中学校の教員配置数は、現在11校と（仮称）竹原学園1校ではどのようになり、その削減効果は。

答弁　教育長 仮に全児童生徒数が600人で約25名。現在の教員数との比較はあまり参考になりません。

質問　水道水源保護条例の制定は、水道法を根拠に自治体の責務を明記しなければなりません。

市の責任で早期につくってこそ、水道水・井戸水を守ることができます。

答弁　市長 この条例制定は、内容や範囲が多岐にわたり、製造業や農業等の事業活動・市民生活に大きな影響が考えられるため、指定区域や対象等に慎重な検討が必要です。

質問　市長は太田川の原水と中通水源の原水はどちらが良質・安全と考えますか。

答弁　市長 水源の種類で検査項目が異なり、比較することはできません。

質問　広域連携（＝企業団）の目的は、健全な経営基盤の確立です。

市長は、竹原市水道事業の経営の健全化や効率化は良好ですとの答弁ですが、今なぜ、企業団に参画するのですか。

答弁　市長 本市水道事業は給水収益の減少、老朽施設の更新等課題があり、参画を判断しました。

宇野（うの）　武則（たけのり）

●庁舎移転問題について
●水道事業について
●地元業者育成について

動画

質問　市庁舎移転問題は福祉会館跡地へ会議所、市立図書館併設先行移転することで、平成29年8月に市長、会頭間で公式に最終合意されたのです。今榮市長は平成30年就任、同年7月豪雨災害と財政再建を優先的に取り組むと合意を解除されたが、事業を一定期間休止、据置くことが最善の選択ではないか。

答弁　市長 合意解除は会議所関係者に理由を説明し、理解いただいたものです。

質問　本年3月、新聞報道で創建ホーム社屋、竹原市へ寄贈意向。市は受け入れに前向き。創建ホーム社長は会頭であり、直接会議所に寄贈が本筋と思うが、会議所が受け入れない理由があるのか強い疑念が残るが、5月19日報道では、市は受納後会議所に無償貸与或いは移転支援金3千万円提供で協議が進んでいるとあるが、市長は何処まで関与されているのか。

答弁　市長 今後の進捗に応じて、適正な時期に必要な予算を措置させていただく予定です。

質問　創建ホーム本社屋は築40年。同地は塩分濃度の高い地層、杭伸は25m超で現行法或いは一般論として、耐久年数、耐震強度について、公式に検査の提出を求めるべきでは。

答弁　市長 検査は昭和60年に受けており、鉄筋コンクリートは50年から70年、適正に管理すれば100年間はもつと言われています。

質問　水道事業団参画の説明では、現県総人口280万人のうち、企業団不参加人口は213万2千人余り、参加は66万8千人余りで、効果が見込めないのではないか。

答弁　市長 交付金で安定した運営が望めると参画を決定しました。

質問　地元業者育成は市長の決断で可能。同団体はすべて車両ポンプを所有。災害時には市民の生命財産を守る第一線組織。今後の取組は。

答弁　市長 建設業者には災害時緊急要請もあり公益性の高い役割もあり、今後も公平性、透明性の確保を図り、業者の受注拡大に努めてまいります。

金森（かねもり） 保尚（やすなお）

●広島県水道広域連合企業団参画について
●教師不足の深刻化について

動画

質問　竹原市は令和４年11月設立予定の広島県水道広域連合企業団に参画することとされています。竹原市における水道事業の課題をどのように考えられて企業団参画を提案されたのか、お伺い致します。

答弁　市長　本市の水道事業については、人口減少に伴う給水収益の減少、水道施設の老朽化による更新費用の増加、技術力の継承など将来にわたる持続可能な事業運営において大きな課題を抱えており、また近年の豪雨災害を踏まえ、施設の強靭化や応急給水・復旧体制など災害に強い組織体制の構築が求められています。

また、将来見通しにおいても、給水人口及び給水収益ともに年々減少し、令和44年度では令和２年度と比べ、給水人口は64％減少し、給水収益は現行の料金水準を維持した場合には、38％減少する見込みとなっております。このような本市の課題や将来見通しを踏まえ、この度の広域連携の取り組みにより、本市においても、国の交付金の活用による施設更新の促進、水道料金の上昇幅の抑制、事業の円滑な執行や技術の継承、危機管理体制を含む運営体制の強化など、様々な効果があることから、参画を判断したところであります。

質問　竹原市教育委員会においては、学校における働き方改革取組方針を策定され、教員の負担軽減を図りながら、教育の質を維持向上されています。その中の長時間勤務について、今年度を含んだ現況をお伺い致します。

答弁　教育長　１カ月当たりの時間外勤務時間が45時間以上となった教員の割合は、令和２年度が21・０％、令和３年度が20・８％、令和４年度は７月末時点で25・０％となっております。

また、年間の時間外勤務時間が360時間以上となった教員の割合は、令和２年度が56・６％、令和３年度が45・９％となっております。

教育委員会と致しましては、引き続き、働き方改革取組方針に基づいた各種取組を進め、時間外勤務時間の削減を図ってまいりたいと考えております。

堀越（ほりこし） 賢二（けんじ）

●庁舎移転における環境整備について
●市内の保育所・こども園・小学校・中学校・義務教育学校の災害時のマニュアルについて
●学校適正配置と地域振興について

動画

質問　合同庁舎に移転した場合、周辺を通行する車輌や人の流れが大きく変化する事が予想されます。

入口から左折で出る場合は、信号のないT字路や交差点が続き、区画整理地区に接した信号のない交差点があります。

先日、この交差点では尊い命が失われる事故が発生しました。

関係機関にしっかり働きかけ、交通事故を抑止する周辺環境の整備が必要ではないでしょうか。

答弁　市長　交通事故発生防止のための措置として、交差点の見通しを改善するための樹木の伐採などを検討しております。

広島県警に対し、信号機の新設について要望を行うなど、交通事故防止のための安全対策に取り組んでまいりたいと考えております。

質問　立地や対象者の年齢などにより、避難マニュアルは違ってくると思います。

現在のマニュアルの状況はどのようになっていますか。

答弁　市長　保育所・こども園は、防火管理に係る消防計画や各園の立地状況に応じた津波、風水害等の避難確保計画を策定しているところで、職員研修や毎月１回の避難訓練を実施しています。

小学校以上では、地震、火災、風水害等災害種別ごとに取るべき避難行動など基本的対応を整理しており、年間３回程度、避難訓練を実施しています。

質問　企業誘致など雇用の場の創出など積極的に推進し、地域の力を上げていく事が必要ではないでしょうか。

答弁　市長　県などの関係機関と連携を図りながら、企業誘致をはじめとした産業の振興と人材の育成に取り組んでまいります。

質問　コミュニティ・スクールの意義を考えると、児童・生徒を地域の力で見守り・育てることが重要ではないでしょうか。

答弁　教育長　コミュニティ・スクールの本来の目的であるともいえる地域創生を視野に入れた「協働・共創型」の地域とともにある学校を目指してまいりたいと考えています。

常任委員会所管事務調査

《総務文教委員会》10月5日　委員長　今田　佳男

●竹原市立学校適正配置計画（案）について

①概　要

竹原市立学校適正配置懇話会の答申を踏まえ、今後20年間を見通した中で、市立学校の適正規模及び適正配置の具体的なビジョンとして、計画期間を令和5年度から令和9年度とする計画を策定する。

②各ブロックの統合再編計画

・賀茂川ブロック　令和7年度

東野小・荘野小・仁賀小・賀茂川中を統合し、義務教育学校（仮称）賀茂川学園を設立

・竹原ブロック　令和8年度

大乗小学校を竹原小学校に統合

・主な質疑

質疑　**学校が無くなることで地域の活力が失われると思うが、対応はどうするのか。**

答弁　現在進めているコミュニティ・スクールの仕組みをさらに浸透させることで、地域をどのようにするかを、地域と行政がしっかり協議するようにする。

質疑　**通学する距離が長くなる子どもたちの安全を確保する対策はどのようにするのか。**

答弁　統合に向けては設立検討委員会を設置するようになると思うが、現在の学校運営協議会と連携して、通学について不安が無いように協議する。

令和3年度の各議員の政務活動費収支報告

●令和3年度 政務活動費支出状況

（単位：円）

議員名	交付額	執行額計	使用内容	合計	差し引き返納額
金森保尚	未申請				
下垣内和春	120,000	0		0	**120,000**
今田佳男	120,000	10,000	研究研修費…… 10,000	10,000	**110,000**
竹橋和彦	120,000	0		0	**120,000**
山元経穂	120,000	0		0	**120,000**
高重洋介	120,000	0		0	**120,000**
堀越賢二	120,000	0		0	**120,000**
川本　円	120,000	0		0	**120,000**
井上美津子	120,000	5,000	研究研修費…… 5,000	5,000	**115,000**
大川弘雄	120,000	46,200	資料購入費…… 46,200	46,200	**73,800**
道法知江	120,000	0		0	**120,000**
宮原忠行	未申請				
吉田　基	120,000	90,500	研究研修費…… 90,500	90,500	**29,500**
宇野武則	120,000	21,794	資料作成費…… 21,794	21,794	**98,206**
松本　進	未申請				

●全ての項目について、収支を証明する領収書が添付されています。
●閲覧を希望される方は議会事務局へご連絡ください。
●各議員の執行状況等については市議会HPからも閲覧できます。

特　集

…NPO法人バンブースポーツクラブ…

《特集後記》

私の子ども達は、バンブー公園で、よく少年野球の試合をさせていただきました。

今は、私の健康維持のために歩きに行っています。歩いている時に、野ウサギに出会うなど、心もリフレッシュできる癒しの場でもあります。孫たちの遊びの場としても、利用させてもらっています。

NPO法人バンブースポーツクラブの利用者の要望を受け止めて、様々な文化、活気ある地域づくりを推進されておられることに感謝して、私もこの活動を応援していきたいと改めて思います。

この取材を通し、竹原市の活力ある社会づくりに必要な施設として、ピースリーホームバンブー総合公園を再確認いたしました。

下垣内　和春

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。

市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP　竹原市議会　検索

次回定例市議会は、12月上旬からの予定です。
みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

9月定例市議会は、広島県水道広域連合企業団（＝企業団）を設置するための条例案が提案され、賛成多数で可決されました。

市議会での議論は、竹原の水道水源は良質でおいしい水であり、今健全な経営をしているのになぜ廃止するのかという反対や、企業団に参画すれば、老朽施設の更新等で国の交付金があり、安定した水道事業ができるなど賛成が出されました。

竹原市水道事業の権限が企業団に移行されれば、事務処理等でこれまで通り、竹原市が権限を発揮することができません。

市民から、竹原市の良質・安全な上水道水源は守れるのかと不安な声が聞かれます。

竹原市は、市民に十分な説明をすべきではないでしょうか。

松本　進

［広報広聴委員］◎委員長 ○副委員長
◎井上美津子　○今田　佳男
下垣内和春　川本　円
宇野　武則　松本　進

発行　竹原市議会　広報広聴委員会　広島県竹原市中央五丁目１番 35 号　☎ 0846（22）7761［直通］